

J A M 政策NEWS

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

連合ゼネラルアクション・国民総行動！ 4月10～11日

医療制度改革署名775万人、雇用危機の突破を求める決議1万600枚を提出

4月10日

雇用対策の抜本的な充実を訴える

ゼネラルアクション・ウィークの総行動の一環として、連合は、雇用危機の打開を求める厚生労働省前集会と厚生労働省要請行動を行いました。

集会には地方連合会の代表等約270名が集まり、地方連合会の代表が、情勢報告と決意表明を行いました。また、厚生労働省要請では雇用対策の抜本的な充実を訴える要請書とともに、1万600枚の「雇用危機の突破を求める決議」を厚生労働省澤田職業安定局長に提出しました。JAMでは、高橋・セイレイ工業労組書記長(連合高知)が厚生労働省要請に参加しました。

13,500人が銀座をデモ行進

18時より、日比谷野外音楽堂で中央総決起集会が開催され、連合笹森会長は「血と汗を流して奮闘している労働者を踏みにじって、なにが構造改革だ」と小泉内閣を痛烈に批判、さらに、「小泉政権が国民の声を聞かないのなら、

政権交代をしてもらうしかない」と述べ、政策転換しない場合には、民主・社民・自由党による新政権樹立をめざすことを強調しました。

引き続き参加者は日比谷～銀座～東京駅まで怒りのデモ行進をしました。

4月11日

医療改革署名を衆院副議長に提出

翌11日は、各地の代表がブロック別にわかれ、民主党・社民党・自由党代表や衆・参国會議員に政策転換を求める要請行動と議員会館前での座り込みを行いました。

また4000名の国会請願デモを行い、正午には2日間の行動を締めくくる「怒りの昼集会」を開催、ここで渡部衆議院副議長に775万人分の署名を提出しました。笹森会長は「こんな政府はいらない」と訴えるとともに、今後も政策転換を求める運動を継続していくことを強調しました。

2日間のゼネラルアクションには、本部・各地方JAMからおよそ800人を超える多数の組合員が参加しました。

JAMでは、4月15日現在

署名310,779人・決議778枚を集約

署名活動は4月末まで行います。さらなるご協力をお願いします！